

7/7

観光情報説明会が
開催されました

県内への観光客誘致を図るため、長崎県観光連盟が主催する「長崎県観光情報説明会」が市内のホテルで開催されました。

説明会は年に2回、県内各地で行われており、西日本地区の旅行会社32人、県内の観光関係団体107人が参加して、県内各市の観光地や物産などのPRが行われました。

本市も大村市観光コンベンション協会や大村物産振興協会などとともに、市内の観光地や食、物産など大村の魅力アピールしました。

旅行会社からは、市内で行っているボランティアガイドの案内、体験観光などが好評なので、今後活用したいとの意見が寄せられました。



7/21

大村ボートレース場の
売上記録を更新

大村ボートレース場が、大村開催の売上の新記録を達成し、東京パシフィックホテルで、日本モーターボート競走会の皆川浩二会長から表彰されました。

いづれも、6月22日から27日まで開催した「SG第20回グラウンドチャンピオン決定戦競走」においての売上で、「1レース売上」(旧記録平成19年)、「1日売上」(同平成17年)、「節間売上」(同平成17年)で、過去58年間の売上記録を更新しました。

来年開催予定の「SG第14回競艇王チャレンジカップ競走」では、更なる記録更新に向けて、全力で取り組んでいくことにしています。



7/23

新幹線開業に向け基本
構想策定委員会を設置

市民の皆さんのご意見を反映させた基本構想を策定するため、「大村市の新幹線開業に向けた基本構想策定委員会」を設置し、松本市長が、委員15人に委嘱状を交付しました。

同委員会は、新幹線を活かした大村市勢を活性化させるための方策や、新大村駅(仮称)周辺整備のあり方などについて、ご意見をお聴きするために設置され、学識経験者、関係団体の代表者や推薦者、公募による市民で構成されています。今後、12月ごろの基本構想の素案の策定に向け協議を重ねることが確認されました。



8/4

ミニボートピア
長崎波佐見がオープン

大村ボートレースの場外舟券発売場「ミニボートピア長崎波佐見」が東彼杵郡波佐見町にオープンしました。オープンには、松本市長、廣瀬市議会議長をはじめ、波佐見町側から「瀬政太町長、松添一道町議会議長」などがテープカットをして開場を祝いました。

「ミニボートピア長崎波佐見」は、大規模駐車場や有料席を完備し、ボートレース大村が開催するレースを中心に、全国発売を行っているSGやGI、ナイトレースなども発売し、年間350日の開催で、1日の平均売り上げ目標は700万円を見込んでいます。

本ミニボートピアの開設は9か所目となります。

